

市議会だより

第119号
(令和7年5月)

発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会



庁舎5階 議場にて撮影
※50音順に議員を紹介していきます

山田 庫司郎 議員 (73歳) 7期

会 派：民主市民ネット
委員会：総務経済委員会

村椿 敏章 議員 (61歳) 2期

会 派：日本共産党議員団
委員会：文教民生委員会／広報委員会

【もくじ】

定例会トピックス	・・・ 2 P
議決結果一覧	・・・ 3 P
予算等審査特別委員会	・・・ 4 P
代表質問	・・・ 5 P～7 P
新庁舎議会棟の紹介	・・・ 8 P

○みなさまの傍聴をお待ちしております

次の定例会は6月17日(火)から開催予定です。

○議会だよりを音声でお届け

ボランティア団体「声の図書館そよかぜ」は、音訳したCDを作成し無償で配付しております。ご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

■問い合わせ：網走市議会事務局 TEL 44-3326

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルフォントを採用しています。

網走市議会では、議会だよりについてのみなさまからのご意見を随時募集しています。



令和7年3月 定例会トピックス

第1回定例会概要【3月3日～3月21日】

網走市議会第1回定例会は、3月3日から21日までの期間で開催されました。

初日に、市長より市政執行方針、教育長より教育行政執行方針が示され、令和7年度各会計予算案と令和6年度補正予算案等の提案がありました。

(表1参照)

3月5・6日に令和6年度分の補正予算等についての審査を各常任委員会で行い、10日の本会議にて原案通り可決しました。

その後、2日間にわたり、市政執行方針などに対しての各会派による代表質問が行われ、市長、教育長が答弁しました。

(5～7ページ参照)

代表質問終了後、令和7年度の予算を審査するため予算等審査特別委員会を設置し、12～19日まで審査を行い、定例会最終日の21日、委員長からの予算の審査結果について報告の

あと、ごみ処理場やスキー場の問題などについて日本共産党議員団、同志会、古都議員からそれぞれ反対討論が行われました。

また、賛成会派を代表して民主市民ネットの山田議員が附帯意見を付けて賛成討論をしました。

(4ページ参照)

同日、追加議案として令和6年度補正予算(表2参照)と網走市常勤の特別職に属する職員の給与に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例(市長給与の条例)制定について提案されました。

条例案が付託された総務経済委員会、市長の給与減額について、市長は廃棄物中間処理施設建設予定地が白紙撤回となり市民に不安を与えたことから、自らの処分を1ヶ月30%の給与削減の処分としたいと述べました。

その後、本会議において、市長の給与条例

改正について反対討論が行われ、日本共産党議員団は税金が無駄になつていて住民は納得いくものではないとして、古都議員は減額の決め方に根拠がなくパフォーマンス的だとし、同志会からは真摯に謝罪すべきだったと反対討論が行われ、追加議案は大方の賛成で可決されました。



賛成討論する
山田議員



反対討論する議員
(左から松浦・栗田・古都)

表1 主な補正予算

区分	No.	補正内容	金額
総務経済	1	避難所にプライベートテント250個(令和7年度に整備)	1,000万円
	2	寄附金その他による基金積立金	1億4,447万円
	3	燃料費高騰による路線バス対策費	2,305万円
	4	市営住宅建設・解体事業の国庫補助金(令和7年度から実施)	2,744万円
文教民生	1	大空町廃棄物 建設予定地白紙による推進協議会負担金	▲1,956万円
	2	中間処理施設 建設予定地白紙による中間処理施設調査委託料	▲1,337万円
	3	建設予定地白紙による土砂流出防止対策費	▲1億2,000万円
	4	中学校冷房施設の整備(令和7年度に整備)	2億145万円
	5	燃料費高騰によるスキー場などの管理運営費	3,430万円
	6	介護保険特別会計 居宅介護サービス給付費等	▲8,400万円
	7	後期高齢者医療特別会計 広域連合納付金	2,270万円

表2 追加された主な補正予算

区分	No.	補正内容	金額
総務経済	1	農産物集出荷施設建設費(令和7年度に繰越) 【財源は国庫補助金24億円、負担金と起債が28億9,200万円】	52億9,200万円
	2	除雪回数の増加による除雪費	7,700万円
	3	市営住宅の解体費(令和7年度に繰越)	7,300万円

令和7年第1回臨時会・第1回定例会議決結果一覧

令和7年第1回臨時会の議決結果について（1月14日）

○全議員が可決・承認した議案

議案第1号 令和6年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 令和6年度網走市下水道事業会計補正予算

令和7年第1回定例会の議決結果について（3月3日～3月21日）

議案と議決結果

（○：賛成 ×：反対）
※議長は議決に加わりません。

民主市民 ネット			研政会			公明 クラブ		日本共産党 議員団		同志会		希政会		無党派
金 兵 智 則	深 津 晴 江	山 田 庫 司 郎	井 戸 達 也	立 崎 聡 一	古 田 純 也	澤 谷 淳 子	永 本 浩 子	松 浦 敏 司	村 椿 敏 章	小 田 部 照	栗 田 政 男	石 垣 直 樹	里 見 哲 也	古 都 宣 裕

○議員別議案賛否一覧表（令和7年度予算及び賛否の分かれた議案）

議案第1号 令和7年度網走市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×
議案第2号 令和7年度網走市市有財産特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 令和7年度網走市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第4号 令和7年度網走市網走港整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第5号 令和7年度網走市能取漁港整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 令和7年度網走市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第7号 令和7年度網走市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議案第8号 令和7年度網走市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第9号 令和7年度網走市簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 令和7年度網走市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第28号 網走市常勤の特別職に属する職員の給与に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×

○全会一致で可決・承認した議案

議案第11号 網走市手数料条例の一部を改正する条例制定について	議案第23号 網走市職員旅費支給条例の一部を改正する条例制定について
議案第12号 網走市介護保険事業計画推進会議設置条例制定について	議案第24号 網走市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例制定について
議案第13号 網走市附属機関条例及び報酬職員給与条例の一部を改正する条例制定について	議案第25号 網走市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
議案第14号 令和6年度網走市一般会計補正予算	議案第26号 網走市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第15号 令和6年度網走市国民健康保険特別会計補正予算	議案第27号 令和6年度網走市一般会計補正予算
議案第16号 令和6年度網走市網走港整備特別会計補正予算	議案第29号 網走市副市長の選任について
議案第17号 令和6年度網走市介護保険特別会計補正予算	議案第30号 網走市教育委員会教育長の任命について
議案第18号 令和6年度網走市後期高齢者医療特別会計補正予算	議案第31号 網走市監査委員の選任について
議案第19号 令和6年度網走市水道事業会計補正予算	議案第32号 網走市公平委員会委員の選任について
議案第20号 令和6年度網走市簡易水道事業会計補正予算	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
議案第21号 令和6年度網走市下水道事業会計補正予算	意見書案第1号 選択的夫婦別姓制度の法制化を早期に求める意見書提出について
議案第22号 網走市職員の任免及び服務に関する条例等の一部を改正する条例制定について	意見書案第2号 高額療養費制度の見直しの撤回を求める意見書提出について

予算等審査特別委員会

令和7年度 予算等審査特別委員会の概要

令和7年度第1回定例会において提案された令和7年度予算等を審査するため、議長を除く15名の議員による「令和7年度予算等審査特別委員会」が設置され、井戸達也議員が委員長に、栗田政男議員が副委員長に選任されました。

令和7年3月12日から実質6日間にわたり、延べ61名の委員による活発な質疑を通じ、予算費目ごとに詳細なる審査を行いました。

その結果、議案第1号、議案第3号、議案第4号、議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第10号に反対の意向を示す委員もありませんでしたが、議員別の採決結果は3ページ参照、大方の委員の意向として、下記のとおり3項目の附帯意見を付し、原案どおり可決いたしました。

令和7年度予算に対する附帯意見

1. ふるさと納税の増額を確実なものにするために、外部知見の活用など体制の確立を図ること。
2. 廃棄物行政をはじめ、すべての事業で透明性・公平性を確保し、丁寧な市民周知を図ること。
3. スピード感が欠ける事業が多い。議会の指摘を真摯に受け止め市政運営にあたること。

日付別のYoutube動画はこちらから

1日目
(歳入・総務等)



2日目
(民生・衛生)



3日目
(労働・農水・商工)



4日目
(土木・教育)



5日目
(特会・企業)



※QR動画は前半部のみです。後半はサイトから直接ご覧になってください。

予算審査の結果を報告する
井戸委員長



令和7年度予算審査における質問の多かった項目一覧

審査1日目		審査2日目		審査3日目		審査4日目		審査5日目	
総務費・消防費など		民生費・衛生費		労働費・農水費 商工費		土木費・教育費		特別会計 公営企業会計	
防災諸費	4	地域医療対策事業	5	人材確保養成事業	5	雪対策事業	10	網走市介護保険特別会計	7
地域振興推進事業	7	リサイクル事業	4	中小企業振興対策事業	7	民間住宅建設促進事業	4	網走市後期高齢者医療特別会計	3
広報公聴活動事業	5	ごみ減量化推進事業	6	中心市街地活性化対策事業	5	教育相談事業	4	水道事業会計	4
市民集会施設管理運営事業	3	環境保全事業	5	観光振興事業	8	学校教育指導奨励事業	5	下水道事業会計	4
交通安全推進事業	3	高齢者生活支援事業	3	海外観光客誘致促進事業	4	小学校情報教育推進事業	4		
○数字は 各項目のべ質問回数				林業振興事業	4	中学校情報教育推進事業	4		
				保安林整備事業	4	スポーツ振興事業	3		
				水産業サポート事業	4	屋外スポーツ施設管理運営事業	3		

豆知識・・・予算審査は、1人あたり1日、質問＋答弁で1時間が持ち時間です。
決算審査は、時間制限はありません。



民主市民ネット

山田 庫司郎



問) 財政見通しについて

答) 令和7年度の予算編成にあたっては、約21億円の収支不足が見込まれたことから、収支の精査と改善を図った。今後の財政見通しについては、新庁舎建設の償還も始まるが、実質公債費比率の改善基調は変わらないものと予測している。

問) 1次産業について

答) 農業について、肥料・資材等の高騰、酷暑など農業経営に影響を与えている。国の「食料・農業・農村基本法」の施策を活用すると共に、農業サポート事業などによる支援を通じ、持続的発展を目指す。

また、水産業においては、当市の漁業を取り巻く環境は不安定な状況。サケ・マス・ホタテの安定化、ウニ、ナマコの資源増大対策を進めることと、漁業調査船整備への支援など積極的に取り組む。

問) 福祉・介護施設の運営状況について

答) 運営の厳しい施設も4割程度あり、人材不足により50床程度が空床になっており介護人材確保は喫緊課題である。人材確保の支援を引き続き進める。

問) 学校の再編について

答) 現在の学校施設は6割が30年以上経過しており、長寿命化改修には337億円必要。学校再編については、学校施設改修計画も踏まえながら、協議会を設置し配置基本計画を策定してゆく。

また、高校の存続と高校生への支援については「高校のあり方検討懇話会」を設置し論点整理をし、魅力ある高校づくりに向けて検討組織を立ち上げ議論を進める。

問) 温暖化対策の市民との取り組みについて

答) 市民・事業者との意見交換による様々な取り組みを検討する。

問) 公共交通について

答) JR、バス、タクシーが確保されている現状を維持させていくかが重要であり、各交通手段の特徴を活かし持続的な交通体系の構築が重要と認識している。

問) 自治体連携について

答) 現在も救急医療、公共交通など様々な取り組みを展開していますが、引き続き各自自治体の特色を活かしつつ連携を強めていく。

※そのほかに、林業・観光・医療・スポーツ合宿、南ヶ丘高校定時制、地域おこし協力隊、町内会の存続などについても質問しました。

研政会

古田 純也



問) 4期目折り返しの水谷市政の今後の展望

答) 長年の念願であった新庁舎で無事に開庁を祝うことができた。今後、更に人口減少が進み、様々な課題が山積しているが、女満別空港網走間の高規格道路の事業化や酒蔵の誘致などを契機として、本市の魅力をさらに高めるとともに、柔軟な市政運営に心掛け、総合計画に掲げる『豊かな自然にひと・もの・まちが輝く健康都市』の実現に向け、全力を尽くしていく。

問) 耐震不足が指摘されている大型施設の更新についてのスケジュール感について

答) 総合体育館及び市民会館については、現段階において、具体的な整備の方向性、スケジュールの検討には至っていない。

問) 開業医誘致の見通しについて

答) 内科医に限らず開業医の誘致に取り組んでいく。

問) 総合福祉センターの浴場施設について

答) 公衆浴場の利用助成等の措置を検討する。

問) 高校生への交通費助成の検討について

答) 現在は考えていないが、今後の市内高等学校の維持・存続の観点から、検討する組織を次年度に立ち上げる予定。

問) 上下水道管、雨水管の経年劣化調査は

答) 上水道は毎年、春・秋の2回、導水管の現地点検の実施と日々監視システムによる流量の確認、配水管は夜間配水量の確認体制を強化するなど、目に見えない漏水の早期発見に努めているほか、専門的な知見を持つ民間業者による漏水調査を行っている。

問) 夏季のゲレンデ活用について

答) 広大なゲレンデを活用して何が行えるのか、また草刈などの整備に係る費用もあることから、観光協会や観光事業者、関係者との議論などを通じて研究していく。

問) 中心市街地活性化について

答) 若者をはじめとする多くの方々の意見をいただくとともに、中心市街地関係者とも連携を図りながら、新しくなった庁舎周辺の賑わい創出、地域の活性化に取り組んでいきたいと考えている。

問) DXを活用した在宅ワーク推進について

答) 事業者のデジタル化を引き続き推進する中で、働き方の選択肢が増えていくことが望ましいと考えている。

※そのほかに、教育行政執行についても質問しました。



◀ 日本共産党議員団



◀ 同志会

代表質問

日本共産党議員団

松浦 敏司



問) 失われた30年で賃金が上がらない中で物価高騰が続く国民生活は一段と厳しい状況にある。石破政権の政治姿勢について、どのように評価しているのか

答) 総理は全ての人々が安心と安全を感じ多様な価値観を持つ人が互いに尊重し合い、自己表現を図る「楽しい日本」を目指す国家像としている。

また、国づくりの核心に地方創生を位置づけている。市として国の動向を注視して市政運営に努める。

問) 国の新年度予算案は、一般会計の総額は115.5兆円と過去最大で、史上最高の税収の下でも国民の苦難に応えようとしな。一方、軍事費を8.7兆円と異常に突出した大軍拡予算である。大企業支援や原発回帰など財界・大企業優先の予算である。この国の予算への評価について伺う

答) 物価高に対応しつつデフレを脱却し、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」の実現を目指すとし、予算総額115.5兆円、税収は78.4兆円と、ともに過去最高。

地方財政計画では、一般財源総額は前年を上回る額が確保されている。地方財政の健全化が図られることは、地方に一定の配慮がなされていると受け止めている。

問) 市財政の現状と今後の行政運営については、1999年度から行政改革が始まり、公共事業などの経費を削減し廃棄物処理場や土木維持管理を民間委託、学校給食調理場の集約、保育園の民営化など130人以上の人員を減らし財政危機を乗り切った。令和5年度の決算では、地方債残高は345億円、事実上の借金である債務負担行為額などの15億円を加えると360億円、取崩し可能な基金51億円を差し引いても309億円の実質債務残高となり厳しい財政運営にある。

行革やふるさと寄附金により財政の健全度を示す財政指標は改善基調だが、消防庁舎の建替えなどを含めて5年間の見通しについて伺う

答) 令和6年度から10年度までの中期財政見通しでは、期間中の収支不足額を20億7千万円、令和10年度末の取崩し可能な基金残高を31億4千万円、市債残高を308億4千万円と見込んでいる。実質公債費比率の改善基調は変わらない。

同志会

小田部 照



問) 当市の財政状況の現状について

答) 令和5年度の決算では、市債残高は、345億円とピークである平成14年度の534億円から189億円の減少。実質公債費比率は、令和5年度は16.1%とピークの平成18年度の20.5%から4.4ポイントの改善。将来負担比率は、令和5年度は112.9%とピークの平成19年度の240.5%から127.6ポイントの改善となっている。

問) 財政健全化計画の進捗について

答) 計画期間中に見込まれる収支不足約28億円に対し、事務事業の見直し・予算執行努力・ふるさと納税などの歳入確保により収支の改善を図っていく。

取り崩し可能な基金残高は、計画約25億円に対し、約51億円と26億円の増となっており、増加の主な要因は、ふるさと寄附金の増によるもの。引き続き、市民サービスの向上と健全な財政運営の両立を目指していく。

問) 経費削減の取り組みについて

答) 中期財政収支見通しでは、5年間で20億7千万円、令和7年度単年では、6億8,200万円の収支不足額が見込まれたことから、これを改善するため予算編成方針を定め、またこれまでのマイナスシーリングにより、各部での事務事業の削減が困難となっていることに加え、人件費や物価の上昇により、様々な経費の増加が見込まれる中、地方交付税では、裁量的な経費の上積みが見込めず、十分な財源を配分できないことから、予算編成手法を従来の部別配分方式から査定方式へと変更した。

問) 学校統廃合に関する方針について

答) 建設から30年以上経過しており、老朽化や機能低下が進行しており建物の健全性を評価する「健全度」が40点から49点の施設が、校舎・屋体・調理場・教職員住宅で20施設にのぼる状況。健全度が「40点未満なら優先的に長寿命化改修等の対策を講じることが望ましい」とされているところ。

教育委員会協議会で議論を重ね「地域と連携した義務教育における一体的教育の実現」を目指して、「網走市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本的考え方」を現在まとめている状況。

※そのほかに、市政執行の基本姿勢、人口減少問題、産業振興と雇用創出、高齢者福祉、障がい者就労、医療体制、DXの進捗、公共施設の改修、公園の再編計画、ごみ問題、指定管理、部活動、スキー場、いじめ不登校問題などについても質問しました。



希政会

石垣 直樹



問) これからの観光は「酒と食」を掲げて取り組まれるとのこと。そのために網走の食をより強固なものとし「おいしいまち網走」を更なるものとし、閑散期対策のみならず「酒と食」がこれからの観光の柱となる施策を望むが考えを伺う

答) 「春カニ合戦in網走」や「網走バル」など、閑散期対策を行っておりますが、来年市内において酒蔵が開業する予定であることから、今後は日本酒や地ビールなど食を絡めた魅力的な観光地づくりに取り組んでいく。

問) 学校教育について、残念ながら網走市では重大事態が発生してしまった。その後の経過について未だ示されていない。発生した重大事態について現状どのような調査状況となっているのかを伺う

答) 令和6年12月18日付けでの調査報告を受け、これまでに被害生徒保護者への説明を行い意向に従い調査報告書の公表に向けて準備を進めている。

調査報告を受けた後は原則公表することを考えている。

問) 闇バイトへの指導が必要な時代となったが、北海道、警察と連携し「闇バイト」に対する指導を行うべき。

報道でミャンマーを舞台とした国際詐欺で、日本人の高校生2名が保護され帰国したとあった。ゲームで知り合った男性に「向こうに行くと良い仕事がある」と誘われたそう。いつ網走の子供達が事件に巻き込まれるかもしれない。対策を伺う

答) 市内校で実施している情報モラル教育では、発達段階に応じながら指導を行っている。「闇バイト」という言葉や事例を具体的に示し危険性を認識させる他、外部機関との連携や相談窓口の周知、保護者への情報提供を行い共有しながら進めていく。

問) 地域協働について、町内会の数が減っているとお話も伺っている。町内会が無くなった地域における防犯灯について撤去するのか、存続させるのかについて伺う

答) 令和8年度から町内会管理分の防犯灯の所有及び電気使用契約を市へ移管する検討を進めている。令和7年度市町連総会で説明し、課題などを整理していきたい。

※そのほかにも、31項目について質問を行いました。

公明クラブ

澤谷 淳子



問) ふるさと納税の拡充策について

答) 網走を訪れた方にその場でご寄附いただく現地決済型の返礼品について、令和5年度から導入している。引き続き新たな返礼品開発・提供の可能性を探っていく。

問) 能登半島地震で上下水道の復旧は大切と痛感。当市の日ごろの点検状況と災害時対策について

答) 上水道は毎年、春・秋の2回、導水管の現地点検・日々監視システムによる流量の確認等・漏水の早期発見に努めている。下水道は下水道法に基づき「腐食の恐れが大きい排水施設」を5年に1回以上の頻度で点検を行っている。

災害時の上水道「水道施設・事故対策・要綱」、下水道「下水道事業業務継続計画(下水道BCP)」をそれぞれ策定している。

問) 小中学校体育館へエアコン設置について

答) 令和6年度は小学校へ設置した。新年度は中学校へ普通教室に各1台、職員室、校長室合わせて66ヶ所、71台の設置を予定している。

現在、小中学校の体育館にエアコンの設置は予定していない。避難所の開設にあたっては、気温や避難者数を考慮しながら普通教室の利用のほか、コミュニティセンター、住民センターなど総合的に判断する。

問) 地域医療について

答) 地域センター病院である網走厚生病院を中核として、かかりつけ医としての市内の病院及びクリニックにより医療提供体制を確保している。

今後も医師会をはじめ医療機関との情報交換し、内科に限らず開業医の誘致に取り組む。

問) 子どものSNS使用について

答) 子どもたちの命と人生を守るため情報モラル教育の充実を図りながらリスクに対する理解・啓発の取り組み、SNSに関する悩みを相談できる体制の強化に努める。

問) 若い力を行政に生かす取り組みについて

答) 昨年12月に採択された桂陽高校の「アプトフォーの活性化」の請願を契機に、新年度は現状の把握や振り返り、アプトフォーを含む中心市街地に求める将来イメージの共創、アイデア検討を行う。

※そのほかにも、女性活躍社会・健康づくり・介護人材の確保・観光・水産業・農業・物流・多世代交流などについても質問しました。

新庁舎議会棟の紹介

議会議場は新庁舎の5階フロアに位置しており、議場のほか正副議長室・議員控室・会議室・応接室などが配置されています。

議員席は、討論しやすい円形の座席位置となっており、旧庁舎の議場とは異なりコンパクトな議場になりました。

新議場の傍聴席は、椅子席が20席のほか、



木材を多用した議場内

車椅子スペースが確保され、難聴者用の補聴サポート機器も用意しています。

傍聴席は議場とフ
ラットな配置となり、
傍聴の際はより近い位
置で議場の討論を傍聴
でき、満席の場合に
備え議會開催中は、ロ
ビーにて議會中継を放
映しています。

また、議場スペースは災害時には一時避難所として利用することができ、議場横には防災備蓄倉庫を併設しています。

避難スペースとして
利用するため、議員
席などは移動可能な構
造となっています。



左：議員席 右：旁聽席



防災備蓄倉庫

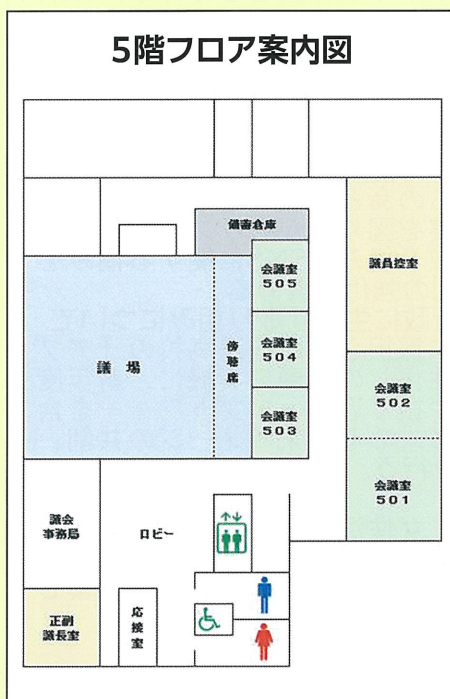


5階ロビー



議員控室

5階フロア案内図



傍聴席からの議場全景

